

企 業 名 : 株式会社 英技研

研究代表者 : 社会環境工学科

准教授 平川 隆一

研究テーマ : 「数値化されたシャワー水の実  
現による手洗環境の革新」

# 開発結果報告書

株式会社英技研

## 1. 実施内容（開発の経緯）

※申請内容と対応させて、開発の経緯及びその実施内容について、図面、図表又は写真等も含めて詳細に記載すること。

- (1) 水翹が少なく、柔らかいシャワー装置の実現とその市場化を図るため、水流測定データ収集及び分析を行った。
- (2) 模擬手洗装置を使用し、弊社既存ヘッド4種及び市販のシャワーヘッド3種を使用した。
- (3) 目皿から流出するシャワー水の形状や水圧、水翹等の状況を目視や画像等の活用によりデータ化した。

## 2. 開発の成果

※開発成果の経済的、社会的、技術的効果等について、具体的かつ詳細に記載すること。

- (1) 手洗時の水翹が少なくなり、市場ニーズに合致する物となった。
- (2) 柔らかい水流を実現するための目皿の研究の成果は、家庭用ハンドシャワーなどへも応用可能であることが確認できた。
- (3) 土木学会主催、応用力学シンポジウムの流体力学部門において、水圧について工学部社会環境工学科の学生が発表した。

## 3. 成果の事業化の見通し

※成果を事業化する見込、時期、規模、また量産化した際の価格、売上見込数量、金額、利益、想定される販売先及び既存製品と比較した場合の優劣等について記載すること。

今期は家庭用シャワーを含めた既存製品の基礎的なデータ収集を実施した。本格的な事業化については目皿の改良を行うことで多目的な展開を行うことができる。

- (1) 共同研究のデータを有効に活用し、他社製品との差別化を図り、弊社製品の市場優先率の向上につなげたい。
- (2) 柔らかい水流という表現の完全なる数値化手法について、今回は確立することができなかった。実用化に向け、継続して研究を実施する必要がある。